西興部村立西興部小学校情報　平成27年3月23日

校長室から

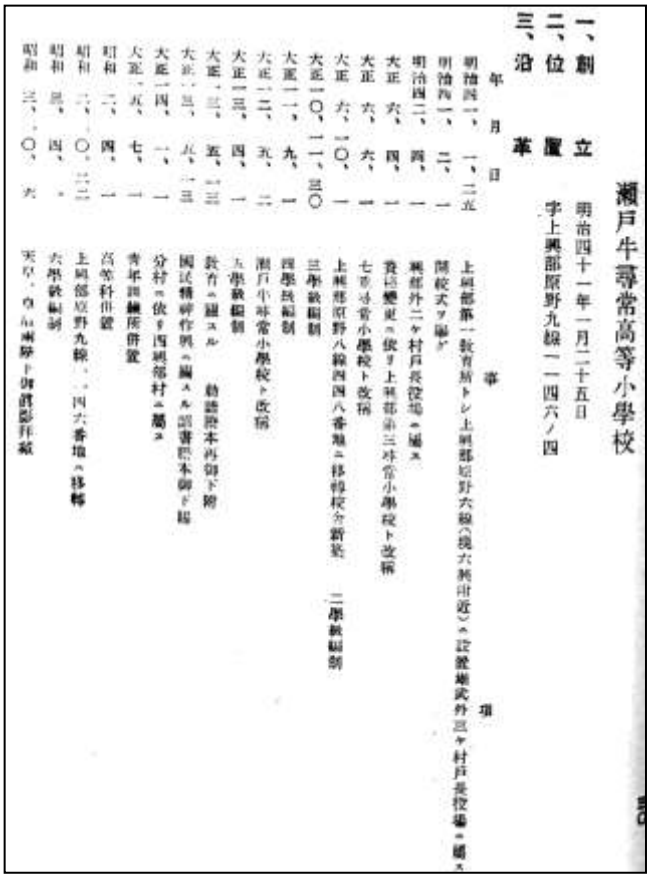
第２９号

本校の開校はいつなのか？　～その 12～

本校第５代校長政井三郎氏が沿革誌を修正した直後の１９３５（昭和１０）年９月３０日に発刊された『分村十周年記念西興部村誌』（以下『西興部村誌』）でも、本校の開校は、１９０８（明治４１）年１月２５日、開校式は１９０８（明治４１）年２月１日となっています。

では、なぜその後、「本校の開校はいつなのか？」をめぐって諸説が生まれていったのでしょうか。筆者の見解を述べます。大きく３つの原因が考えられます。

１つ目は２５周年記念事業が、１年遅く実施されたことです。その後の５０周年記念事業、７０周年記念事業、１００周年記念事業は、いずれも２５周年を基準に行われています。周年事業を行う際に、直近の周年事業までさかのぼって、それまでの記録に新たな歴史を加えていくのが通例でしょう。周年事業の記念誌を作成する際に、沿革の大要を記しますが、あらためて沿革を調べていく際に、「本校の開校は、本当は明治４１年で、１年遅れで周年行事を実施している」という認識が協賛会の中にあったことは、５０周年、７０周年、１００周年いずれの記念誌からも読み取ることができます。


瀬戸牛尋常高等小學校

一、創立　明治四十一年一月二十五日

二、位置　字上興部原野九線一一四六ノ四

三、沿革

年月日	事項
明治四一、一、二五	上興部第一教育所トシ上興部原野六線（現六線附近）ニ設置認可ス
明治四一、二、一	開校式ヲ挙ゲ
明治四二、四、一	興部外二ケ村戸長役場ニ届ス
大正六、四、一	資格變更ニ依リ上興部第三尋常小學校ト改称
大正六、六、一	七市尋常小學校ト改称
大正六、一〇、一	上興部原野八線四四八番地ニ移轉校舎新築　二學級編制
大正一〇、一一、三〇	三學級編制
大正一一、九、一	四學級編制
大正一二、五、二	瀬戸牛尋常小學校ト改称
大正一三、四、一	五學級編制
大正一三、五、一三	教育ニ關スル勅語謄本再御下附
大正一三、六、一三	國民精神作興ニ關スル詔書謄本御下賜
大正一四、一、一	分村ニ依リ西興部村ニ属ス
大正一五、七、一	青年團編成併設
昭和二、四、一	高等科併設
昭和六、一〇、二二	上興部原野九線一一四六番地ニ移轉
昭和八、四、一	六學級編制
昭和三、一〇、六	天皇・皇后兩陛下御眞影拝戴

『西興部村誌』３０ページ

２つ目は、本校に『大正十二年七月調製　学校沿革並現勢誌　瀬戸牛尋常小学校』（以下『学校沿革並現勢誌』）と『永久保存　沿革誌　西興部小学校』（以下『沿革誌』）の２冊の学校沿革誌が存在することです。どちらの学校沿革誌を根拠とするかで、「本校の開校はいつなのか？」は違ってきます。そして、『学校沿革並現勢誌』の方が古くに作成されており、その写しである『沿革誌』が後日修正されている点にも注目しなければなりません。「本校の開校はいつなのか？」をあらためて調べるとき、新しく作成され、かつ修正が加えられている資料よりも、古い資料を根拠とするのが自然です。

３つ目は、本校（上興部第一教育所）と上興部小学校（上興部第二教育所）との関係です。上興部小学校の学校沿革誌や『西興部村誌』など、複数の文献から、上興部第二教育所は明治４１年６月に教育所として設置されており、上興部第一教育所の開校が明治４２年だと、つじつまが合わなくなってしまいます。そこで本校は明治４１年１月２５日に設置認可、明治４２年２月１日に開校という、いわばダブルスタンダード的な解釈がされたのでしょう。

以上３つのことが原因となり、様々な説が生まれたと考えられます。

『五十周年記念誌』から、すでに当時から「本校の開校はいつなのか？」については明治４２年説と明治４１年説がありました。その後発刊された文献を調べていくと、西興部村史編纂委員会（昭和５２年１１月３日）『西興部村史』西興部村（以下『西興部村史』）の発刊が大きなエポックとなったことが判ります。